

大学教員としての実践チャレンジ

2019年7月1日～2019年9月30日

中国首都経済貿易大学 授業支援
経営学研究科後期課程 SUNYI

内容及び目的

インターンシップの内容は、主に事前準備（担当責任者、受講生との打合せ）、授業の準備（レジュメ作成、パワーポイント作成）、授業の実施（出席管理、質問対応）、事後処理（宿題回収、成績付け、業務報告）などが。私は今回のインターンシップを通じて、以下のことを期待する。

- * 学校側担当者との共同作業を通じて、社会人として仕事仲間関係のルールや常識を理解し、チームワークの能力を引き上げる。
- * 学生とのコミュニケーションを通じて、学生の本音を聞き、需要に対応できる教員になる。
- * レジュメやパワーポイントなどの作成を通じて、パソコン操作のスキルを向上させて、理解しやすく教材を作る。
- * 講義内容への参画を通じて、良い講義を作る能力を身に着ける。
- * 宿題採点と成績付けを通じて、公平平等な評価方法を把握する。



成果及び反省

今回のインターンシップでは、技術やスキルを身に着けることだけではなく、人と人のつながりとか、メンバーの間の協力とか、学習よりも必要なことに対して、自分がもう一度考え直した。これからの自分は、専門知識の研究に専念する以外、信頼できる人間になるように頑張りたいと思う。自分は最初の目標以上成長したと考えている。

今回のインターンシップ活動で、自ら気づいた不足点はほぼ三つがある。①コミュニケーション能力の不足。研究者でも人間として世の中に生きているので、他人とのコミュニケーション能力は不可欠なことと分かった。②教師として授業実行スキルの不足。自分が専門知識を持つことよりも、他人に説明できる能力がもっと重要だということが分かった。③自分ができるという自信の不足。これからはもっと自信を持って、「自分ができる」のような自信家になりないと考える。



首都経済貿易大学
CAPITAL UNIVERSITY OF ECONOMICS AND BUSINESS